

事業所における自己評価結果(公表)

参考様式3

公表:令和 4年 7月 29日

事業所名:多機能型重症児者デイサービスモアナ

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点 改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	3	0	日による バギーを置くスペースがない 人が通らない場所に置きスペースを確保している 休息が必要な児がいる場合、活動スペースが狭くなるときの 区切れるような仕組みがあればと思う	開所後から事業所なりの活動の方法を検討し現在の方法に至りました。今後も継続しながら、いろいろな活動を提供できる環境にしていきたいと思います。
	② 職員の配置数は適切であるか	9	5	0	日による 送迎時に看護師増員が必要 固定化できないので大変	同性介助を原則として支援しているため、男性スタッフが足りない意見が多かった。評価内容を踏まえ、人員体制を検討していく。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	2	0	玄関が狭い、もう少し広いと安心して介助できる	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11	3	0	グループLINEなどで情報共有している	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	13	1	0		
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	3	0		
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	8	0		
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12	2	0	よくわからない。 参加できない職種のためファイルではなくホワイトボードに付けている	研修は事業所内で実施するものに関しては研修報告書で参加できなかった職員にも伝達できるような工夫をしていく。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	13	1	0		
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	6	1		
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	0	0	全職種が参加している	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13	1	0	同じ遊びが度々ある。 いろんなチャレンジをしている 適宜、療育会議を行い固定化を防いでいる	意見に出たように、現在計画案の立案や準備などの方法も検討している。特定のスタッフの負担にならないよう事業所全体で活動内容の検討や実施を行えるように方法を考えていきたい。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	11	3	0	お祭り、運動会、科学館などスタッフ一丸となって企画、運営されている	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	2	0		
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	1	0		

	⑩ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	5	0	全体的に周知できていない している時もある。	職員全体に周知できないことがないように、連絡ノートの活用や回覧方法の工夫について検討する。
	⑪ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	0	0	細かく連絡帳に記載している	
	⑫ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	12	2	0		
	⑬ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	12	2	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	3	0		
	⑮ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	13	1	0		
	⑯ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	10	4	0		
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	5	1	就学している児であればそれ以前の園等との情報交換はない	入学に伴いご利用を考える方には、事前にご利用している事業所への見学、情報交換を行ったが、この一年はそのようなお子さまのご利用がない。今後そのような新規のご利用がある場合には情報提供や職員への周知の方法を検討していきたい。
	⑱ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	11	3	0		高校を卒業予定の方は支援者会議を実施している。移行してからの情報提供は相談員さんを通じて実施しているが、相互に連携できるような体制を作りたいと思う。
	⑲ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	5	0		全国重症児者デイサービスネットワークや連携医療機関と情報交換を行いながら研修会の計画などを行っていた。現在、新型コロナウイルスの感染対策の影響もあり、積極的な実施に至っていなかったので今後の感染状況に合わせて立案していきたい。
	⑳ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	10		現在感染対策もあり、非実施。
	㉑ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	7	4		
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	2	0		
	㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	9	2		

保護者への説明責任等	⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	2	0		
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12	2	0		
	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	5	7	コロナ禍では難しい	保護者との連携は積極的に行っているが、保護者同士の交流機会は計画出来ていなかった。今後検討課題とする。
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	1	0		
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1	0		
	⑮	個人情報に十分注意しているか	14	0	0		
	⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13	1	0		
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	5	7	コロナでできない	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	2	2	防犯訓練はしていない？	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	3	0		
	㉒	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12	2	0		全体周知出来るよう研修計画を立案していく。
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	14	0	0		
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	4	0	食事提供なしのため(児童が持参してきているため)	
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	2	0	積極的に記載するように事業所内で共有している。	今年度の反省の中で、ヒヤリハット/インシデントについての認識に差があったと認識している。対策として、ヒヤリハットについての勉強会や強化月間を取り入れて、積極的に実施出来る環境を整えた。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。